

新技術・情報名	極早生温州「崎久保早生」の藩岸線からの距離による地帯別果実品質		
実施場所	三重県農業技術センター	紀南かんきつセンター	分類 (2)

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

本果の東紀州地域に導入されている極早生温州「崎久保早生」について、藩岸線からの距離による地帯別の果実品質を調査し、地帯別の出荷適期を検討した。

(1) 糖度はバラツキが大きく地帯別の差は明らかでなかった。しかし、クエン酸含量には差が見られ藩岸地帯が低く、次いで中間地帯で山間地帯が最も高かった。また、クエン酸含量において中間、山間地帯の崎久保早生と藩岸地帯の宮川早生は、ほぼ同じであった。

(2) 果皮色において、崎久保早生は地帯間の差が明らかで藩岸地帯が最もよく、山間地帯が最も劣った。宮川早生ではその差が明らかでなかった。その他の果実品質については概して藩岸、中間地帯のものがすぐれていた。

(3) 以上の結果、崎久保早生はクエン酸含量と果皮色において地帯間の差は明らかで、クエン酸含量において藩岸地帯と山間地帯では10~15日の開きが認められた。クエン酸含量1%以下を出荷可能期とすると9月中旬迄の出荷は藩岸地帯のみ、9月下旬迄の出荷は藩岸地帯と中間地帯で山間地帯は10月に入るとの出荷と存存とが明らかになった。3ヶ年とも同傾向であったが、減酸の遅れ本身は地帯間差が小さくなる傾向を捉えた。

2) 技術・情報の適用効果

極早生温州「崎久保早生」の地帯別の出荷適期が明らかになる。

3) 適用範囲

極早生温州「崎久保早生」の熊野灘に面した栽培地域

4) 普及指導上の留意点

- (1) 地形、土質が極端に異なる地域では適用が難しい。
- (2) 開花時期との関連を見ても適用することが望ましい。

(かんきつ研究室 前博視)

2. 具体的データ

(1988年)

表1. 果実品質

品種	地帯区分	満開時期(月日)	収穫時期(月日)	1果平均重(g)	果形指数	果肉率%	果皮厚(m)	果皮色	果肉色	糖度(BX)		酸		糖/酸
										元	CV	元	CV	
崎久保	海岸	5.5	9.10	96	131	79.8	2.2	0.9	3.5	8.5	7.0	1.04	5.3	8.2
		以內	9.25	112	131	81.3	2.3	2.0	4.1	8.5	5.4	0.78	3.7	11.0
	中間	5.7	9.10	94	128	80.5	2.2	0.8	3.1	8.8	8.6	1.26	4.4	7.0
		5.10	9.25	107	132	80.4	2.4	1.9	4.2	9.0	9.2	0.94	8.4	9.7
	山間	5.12	9.10	84	127	77.9	2.5	0.6	2.9	8.4	15.4	1.35	12.8	6.2
		5.15	9.25	109	129	78.1	2.6	1.2	3.6	8.5	15.9	1.05	11.4	8.3
有意性(処理)		9.10							NS	NS	*	*		
		9.25							NS	NS	*	**		
宮川(对照)	海岸	5.7	9.10	85	122	79.5	1.8	0.3	2.9	8.5	3.8	1.37	4.9	6.9
		以內	9.25	95	118	83.3	1.9	0.8	4.0	8.7	6.1	1.00	11.0	8.8
	中間	5.9	9.10	87	121	80.7	2.1	0.4	3.0	9.1	9.9	1.91	5.8	4.8
		5.12	9.25	90	119	82.7	1.9	0.6	4.0	9.2	10.7	1.37	6.2	6.8
	山間	5.14	9.10	79	118	80.4	1.9	0.5	2.9	9.1	7.7	1.88	15.4	4.9
		5.17	9.25	98	119	84.4	2.2	0.7	3.9	9.4	8.7	1.45	6.8	6.5
有意性(処理)		9.10							NS	NS	*	*		
		9.25							NS	NS	**	**		

注) 1地点 5樹×2果を調査 海岸(0.3~0.5km)、中間(0.6~1km)、山間(2~4km)

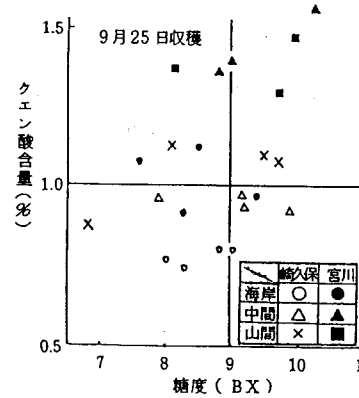


図1. 糖、酸の分布 (1988年)

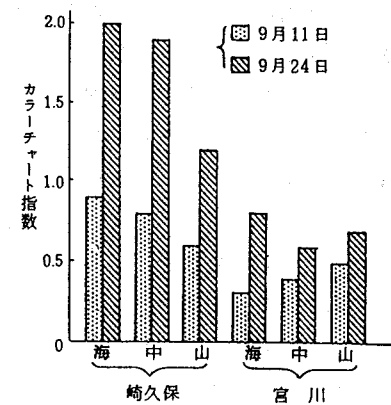


図2. 果皮色 (1988年)

3. その他特記事項

研究課題名 崎久保早生の地域適応性調査

期間 5/61~63 予算区分 果単